

県立広島大学の入学者に関する受入方針（令和2年度～）

◎学士課程全体

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

県立広島大学は、次に掲げる「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・協働性」を持ち、地域社会の発展に貢献したいと願う人を求めています。入学者選抜にあたっては、学力検査、小論文、面接等により、多面的に資質や意欲を評価し、決定します。

【知識・技能】

- ・高等学校等での学びを通じた基礎学力を身に付けている。

【思考力・判断力・表現力】

- ・物事を様々な視点から捉え、柔軟に思考できる。
- ・筋道立てて考え、その場にふさわしい表現を用いて伝えることができる。

【主体性・協働性】

- ・自らの能力の向上を目指し、主体的に学ぶことができる。
- ・多様な他者を理解しようと努め、協力して物事を前進させることができる。

◎地域創生学部

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

地域創生学部地域創生学科地域創生学部は、地域文化、地域産業、健康科学のいずれかに強い関心を持ち、それらの知識・技能を身につけ、地域社会の持続的な発展に貢献したいと考えている、次のような学生を求めます。

【知識・技能】

- ・高等学校で学ぶ基礎的知識を身につけ、地域の文化、産業、健康について学ぶうえで必要な基礎学力・理解力を持つ人

【思考力・判断力・表現力】

- ・様々な社会事象を複眼的に捉え、それに対する自らの意見や主張を論理的に、かつ熱意をもって説明できる人

【主体性・協働性】

- ・自らが働き、暮らし、活動する身近な地域の問題、あるいは日本や世界の各地で起きている出来事に対する関心を持ち、文化、産業、健康の分野から、地域社会の持続的な発展に貢献したいという意欲を持つ人

- ・高い倫理観と豊かな人間性を持ち、他者の理解に努め、また他者と協働して活動を遂行することができるコミュニケーション能力を持つ人

◎地域文化コース

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

地域創生学部のアドミッション・ポリシーを踏まえ、地域文化の専門的知識と技能の修得を目指す、次のような学生を求めます。

【知識・技能】

- ・他国や日本の文化及びコミュニケーションに強い関心を持ち、それらについての基礎的な知識・技能を身につけている人
- ・自らが働き、暮らし、活動する身近な地域の問題、あるいは日本や世界の各地で起きている出来事に対する関心を持ち、それらについての基礎的な知識・技能をバランスよく身につけている人

【思考力・判断力・表現力】

- ・基礎的な学力を身につけた上で、自らが働き、暮らし、活動する身近な地域の問題、あるいは日本や世界の各地の文化や社会・経済的事象を複数の視点から相対的に捉えようとする思考への意志を持ち、そうした自身の考えを適切に表現できる能力を身につけている人

【主体性・協働性】

- ・基礎的な学力を基盤として、主体的に考察を深め、相互に協力して学修を進めていこうとする意欲を持っている人

◎地域産業コース

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

地域創生学部のアドミッション・ポリシーを踏まえ、地域産業（経営学並びに応用情報学）の専門的知識と技能の修得を目指す、次のような学生を求めます。

【知識・技能】

- ・高等学校で英語、国語、社会、数学、理科に関して十分な基礎学力を持つ人

【思考力・判断力・表現力】

- ・経営・会計ファイナンスの専門知識を身につけて、それを活かした社会・地域への貢献や活動などに関心のある人
- ・経営・会計ファイナンスの専門知識を身につけて、それを活かした職業につきたいと思っている人
- ・情報システム、情報ネットワーク、情報セキュリティなどの理解に意欲や関心を持って

いる人

- ・応用情報学の専門知識とスキルを身につけ、それを活かして社会・地域へ貢献したい、または関連職業に就きたい人
- ・基本情報技術者などの資格を取得し、企業や社会で活躍したいと考えている人

【主体性・協働性】

- ・基礎的な学力を基盤として、主体的に考察を深め、相互に協力して学修を進めていこうとする意欲を持っている人
- ・企業や組織のしくみや活動を理解することに意欲や関心を持つ人
- ・コンピュータの仕組み、情報ネットワーク、情報セキュリティなどの理解や、データの分析・処理などによる新たな価値の創出に意欲や関心を持つ人

◎健康科学コース

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

地域創生学部のアドミッション・ポリシーを踏まえ、健康科学の専門的知識と技能の修得を目指す、次のような学生を求めます。

【求める学生像】

- ・理科学実験が好きで探究心旺盛な人
- ・「生体（人体の仕組み）」と健康とのかかわりに興味を持っている人
- ・「食品・栄養」と健康とのかかわりに興味を持っている人
- ・「運動」と健康とのかかわりに興味を持っている人
- ・「健康」に関する専門性を身につけ、地域社会や地域の人々と協働したいと考えている人
- ・管理栄養士などの健康の維持・増進と疾病予防にかかわる仕事に強い熱意を持っている人
- ・栄養教諭などの児童・生徒への食育にかかわる仕事に強い熱意を持っている人

【思考力・判断力・表現力】

- ・論理的に思考し、様々な観点から多面的に考察し、自分の考えをまとめることができる。
- ・健康科学に関する自分の考えを、日本語でわかりやすく表現することができる。

【主体性・協働性】

- ・「生体（人体の仕組み）」「食品・栄養」及び「運動」と健康とのかかわりに興味を持ち、健康の維持・増進について主体的に貢献する意欲がある。
- ・健康の維持・増進並びに疾病予防に関する課題に対して、他者と協働して解決する意欲がある。

◎生物資源科学部

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

農・食・生命・環境のいずれかの分野に強い関心を持ち、生物生産技術の開発による安定した食料生産、食の機能性・安全性の評価や生命機能の解明・生物資源の開発を通じた健康の維持・促進、良好な生存環境の創出、地球環境の保全や修復などの領域において、課題解決に必要な実践的・先端的知識と技能を身に付け、将来、新しい社会的、文化的、産業的な価値を生み出し、持続可能な社会の構築に貢献できる「課題探究型地域創生人材」として活躍したいという熱意と行動力を持った人材を求めます。

◎地域資源開発学科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1. 基本理念

「農」や「食」の分野において、専門的かつ実践的な知識・技術と科学的根拠に基づく情報発信力・実践力・マネジメント力を有し、地域の課題解決に貢献できる技術者及び実践的研究者として活躍したいと考えている人、他者と協働しながら主体的に活動し、課題解決策を発信していく熱意と行動力を持った人材を求めます。

2. 求める学生像

- ・未来の農業や食品加工に強い関心を持ち、専門的知識・技術を用いて産業の創設や6次産業化により地域の発展に貢献する意欲がある人
- ・里山の利活用や保全に関わる分野で活躍したいと考えている人
- ・伝統的知識と科学的知識の双方を吸収・癒合せ、地域に還元することで地域の課題解決に貢献する技術者・実践的研究者を目指す人
- ・実験や実践的なフィールド研究によって自ら課題を解決し、新しい発見を目指す知的探究が好きな人
- ・ICTやAI、ロボット技術を活用した農業や農産物加工、食品に関わる経営マネジメントに興味があり、探求する意欲がある人
- ・「農」・「食」の分野における専門家を目指し、大学院に進学してより深い知識や高い技能を身に付け、グローバルに活躍したい人
- ・柔軟な思考と実践力を身に付け、地域社会が抱える多様な問題に対し粘り強く果敢に立ち向かい解決しようとする人

3. 入学者選抜の基本方針

入学者選抜にあたっては、学力検査、小論文、面接等により、多面的に資質や意欲を評価し、次の能力を備えた受験生を各種選抜試験を通して入学させます。

【知識・技能】

- ・高等学校までに履修する国語、数学、外国語、理科について内容を理解し、基本的な知識、学力を有している。
- ・科学的な物事に関心を持ち、多面的かつ論理的に説明することができる。

【思考力・判断力・表現力】

- ・広い視点で物事をとらえ、科学的に判断しようとする姿勢を有している。
- ・自分の意見や考えを口頭や文章で的確に表現し、伝えることができる。
- ・多くの意見を傾聴し、情報交換ができるコミュニケーション能力を有している。

【主体性・協働性】

- ・農業や食品及びそれらに関わる経営マネジメントに関する諸問題に深い関心を持ち、積極的に社会や地域に貢献する意欲を有している。
- ・能動的に学ぶ姿勢・意欲をもち、向上心をもって物事に取り組むことができる。
- ・他者と協働して課題解決に取り組むことができる。

◎生命環境学科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1 基本理念

ライフサイエンスやバイオテクノロジー、持続可能な社会の構築、良好な生存環境の創出など「人々の生存」に関わる分野において、生命科学と環境科学に関する専門知識、新たな概念や技能を身に付けて活用すると共に、他者と協働しながら主体的に活動し、課題解決策を発信していく熱意と行動力を持った人材を求めます。

2 求める学生像

- ・ライフサイエンスやバイオテクノロジー、持続可能な社会の構築、良好な生存環境の創出など「人々の生存」に関わる分野に広い興味を持ち、自ら学ぶ意思と積極性を有している人
- ・生命科学と環境科学に関する新しい知識や技術を積極的に吸収し、科学技術の発展を通じて社会に貢献したい人
- ・医薬品・化粧品・食品、アグリバイオ、生殖科学、循環型材料・技術の開発、環境の分析や評価、環境修復や良好な環境の創出に関わる仕事に就きたいと考えている人
- ・生命環境分野における専門家を目指し、大学院に進学してより深い知識や高い技能を身に付け、グローバルに活躍したい人
- ・教員や公務員として専門知識や技能を活かした人材育成、住民福祉や生活環境の向上を目指す人

- ・実験や調査などを通じた研究によって自ら問題を解決し、新しい発見を目指す知的探求が好きな人
- ・柔軟な思考と実践力、科学を学ぶ者としての倫理観を身に付け、国際社会や地域が抱える多様な問題に対し果敢に立ち向かい解決しようとする人

3 入学者選抜の基本方針

入学者選抜にあたっては、学力検査、小論文、面接等により、多面的に資質や意欲を評価し、決定します。

- ・推薦入試はコース専願とする。
- ・推薦入試には、入学前学習としてセンター試験（大学入学共通テスト）を課します。
- ・一般入試には、経過選択性の対象となる経過選択枠と入学時からコースを定めた専願枠を設ける。

【入学の方法】（※コース選択の導入）

本学科への入学は入試の受験方法により、以下の選択が可能です。

[一般選抜（コース経過選択）]

[一般選抜（専願）]

[推薦入試（県内枠・専願）]

[推薦入試（全国枠・専願）]

[社会人特別選抜]

[帰国生徒特別選抜]

[外国人留学生特別選抜]

「一般選抜（コース選択）」入学者は入学後、2年次の段階で生命科学コースと環境科学コースを選択することができます。

「一般選抜（専願）」入学者は入学試験の段階で進学するコースを決定します。入学後のコース変更は認められません。

入学者選抜にあたっては、学力検査、小論文、面接等により、多面的に資質や意欲を評価し、次の能力を備えた受験生を各種選抜試験を通して入学させます。

【知識・技能】

- ・大学で学ぶ上で必要な高等学校の教育課程の基本的な学力（5教科7科目）を有している。
- ・理科（生物、化学、物理のいずれか）、外国語、数学については、高等学校までの教育課程における十分な学力を有している。
- ・科学的な物事に関心を持ち、多面的かつ論理的に説明することができる。
- ・高大接続対象学生においては、経験してきた実験・実習に関する内容を理解し、説明することができる。

【思考力・判断力・表現力】

- ・広い視点で物事をとらえ、科学的に判断しようとする姿勢を有している。

- ・自分の意見や考えを口頭や文章で的確に表現し、伝えることができる。
- ・多くの意見を傾聴し、情報交換ができるコミュニケーション能力を有している。

【主体性・協働性】

- ・ライフサイエンスやバイオテクノロジー，持続可能な社会の構築，良好な生存環境の創出など「人々の生存」に関わる課題に関心を持ち，その解決に向けて社会や地域で積極的かつ主体的に活躍・貢献する意欲を有している。
- ・能動的に学ぶ姿勢・意欲をもち，向上心をもって主体的に物事に取り組むことができる。
- ・地域や社会，他者と協働して課題解決に取り組むことができる。